

平成25年度第8回SPODネットワークコア運営協議会 議事次第

日 時：平成26年1月29日（水）10：00～11：30

場 所：各コア校（遠隔配信）

議 題：

1. 平成24年度事業評価委員会委員からの指摘事項に対する対応状況について
 - ・平成24年度事業評価委員会委員からの指摘事項に対する対応状況について（案）【資料1】
2. SPOD将来構想ワーキンググループについて
 - ・SPOD将来構想ワーキンググループ設置に関する申合せ（案）【資料2】
3. SPODフォーラム2014について
 - ・SPODフォーラム2014の開催について（案）【資料3-1】
 - ・SPODフォーラム2014スケジュール（案）【資料3-2】
4. SPODネットワークコア運営協議会FD／SD専門部会について
 - ・平成25年度SPODネットワークコア運営協議会FD専門部会（第2回）議事概要【資料4-1】
 - ・平成25年度SPODネットワークコア運営協議会FD専門部会（第2回）議事次第【参考資料1-1】
 - ・平成25年度SPODネットワークコア運営協議会SD専門部会（第2回）議事概要【資料4-2】
 - ・平成25年度SPODネットワークコア運営協議会SD専門部会（第2回）議事次第【参考資料1-2】
5. 平成25年度「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」総会等の開催について
 - ・平成25年度「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」総会及びFD／SD分科会 実施要項（案）【資料5】
6. 平成25年度SPOD事業評価委員会の開催について
 - ・平成25年度「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」（SPOD）事業評価委員会実施要項（案）【資料6】
7. ティーチング・ポートフォリオ作成ワークショップの開催について
 - ・ティ－チング・ポートフォリオ作成ワークショップ実施要項等【資料7】
8. 愛媛大学教育改革シンポジウムの開催について
 - ・平成25年度愛媛大学教育改革シンポジウムチラシ【資料8】
9. その他

平成25年度SPOD事業実施状況一覧

平成26年1月29日現在

事業名	開催日時	開催場所	参加者数		備考
1. FD事業					
①新規採用教員研修					
・教育力開発基礎プログラム	平成25年8月30日～8月31日	徳島大学	35	済	
・よりよい授業のためのFDワークショップ	平成25年9月12日～13日	香川大学	11	済	
・第20回 授業デザインワークショップ(愛媛大学)	平成25年7月6日～7日	久万高原ふるさと旅行村	24	済	
・第21回 授業デザインワークショップ(愛媛大学)	平成25年9月2日～4日	愛媛大学	21	済	
・学生の学びを支援する授業準備ワークショップ	平成25年9月2日～3日	高知大学	9	済	
②FDファシリテーター(FD担当者)養成研修	平成25年6月22日～23日	淡路青少年交流の家	14	済	
③ファカルティー・ディベロッパー(FDer)養成研修	平成25年10月4日～6日	キャンパスプラザ京都	82	済	
④ティーチング・ポートフォリオ作成ワークショップ					
・東四国対象(徳島県、香川県)	平成26年3月6日～8日	徳島大学			
・西四国対象(愛媛県、高知県)	平成25年9月17日～18日	愛媛大学	15	済	
・高専対象	平成25年11月15日～17日	愛媛大学	2	済	
⑤ティーチング・ポートフォリオ更新ワークショップ	平成25年7月8日	愛媛大学	4	済	
⑥アカデミック・ポートフォリオ作成ワークショップ	平成25年9月17日～18日	愛媛大学	2	済	
⑦教育系外部資金獲得のための申請書作成ワークショップ	平成26年3月	愛媛大学			
⑧その他各種FDプログラムの実施	※	各加盟校	※		※別添参照
⑨FDプログラムの開発					
2. SD事業					
①職員のための講師養成講座					
・第1回	平成25年6月13日～14日	愛媛大学	12	済	
・第2回	平成25年11月8日	愛媛大学	30	済	
②大学人・社会人としての基礎力養成プログラム					
・レベルⅠ 第1回	平成25年5月9日～10日	愛媛大学	70	済	
・レベルⅠ 第2回	平成25年10月17日～18日	愛媛大学	48	済	
・レベルⅡ	平成25年9月26日～27日	愛媛大学	20	済	
・レベルⅢ	平成25年7月4日～5日	愛媛大学	19	済	
・共通科目	平成25年12月10日～11日	愛媛大学	39	済	
③学務系職員養成プログラム					
・レベルⅠ					
学生支援概論	平成25年8月21日	愛媛大学	11	済	SPODフォーラム2013プログラム
入試情報調査論	平成25年8月21日	愛媛大学	16	済	SPODフォーラム2013プログラム
学生相談入門	平成25年8月21日	愛媛大学	24	済	SPODフォーラム2013プログラム
・レベルⅡ	平成25年7月11日～12日	愛媛大学	21	済	
④社会連携系プログラム					
・レベルⅠ	平成25年8月21日	愛媛大学	35	済	SPODフォーラム2013プログラム
⑤国際連携系職員養成プログラム					
	平成25年10月31日～11月1日	愛媛大学	26	済	
⑥次世代リーダー養成ゼミナール					
・第1回	平成25年5月23日～25日	愛媛大学	18	済	
・第2回	平成25年8月1日～3日	桃山学院大学	91	済	
・第3回	平成25年11月14日～16日	香川大学	30	済	
・第4回	平成26年1月23日～24日	徳島大学	18	済	
⑦高等教育トップリーダーセミナー	平成25年8月22日	愛媛大学	77	済	SPODフォーラム2013プログラム
⑧スタッフ・ポートフォリオ作成ミニワークショップ	平成25年8月21日	愛媛大学	10	済	SPODフォーラム2013プログラム
⑨その他各種SDプログラムの実施	※	各加盟校	※		※別添参照
⑩SDプログラムの開発					
3. SPODフォーラム2013	平成25年8月20日～23日	愛媛大学	560	済	
4. SPOD共通事業	※	各加盟校	※		※別添参照
5. SPOD運営関係					
① ネットワーク総会	平成26年3月28日	愛媛大学			
② ネットワークコア運営協議会					
・第1回(遠隔)	平成25年4月24日	各コア校	39	済	
・第2回	平成25年5月29日	愛媛大学	30	済	
・第3回(遠隔)	平成25年6月20日	各コア校	42	済	
・第4回(遠隔)	平成25年7月18日	各コア校	40	済	
・第5回(遠隔)	平成25年9月25日	各コア校	36	済	
・第6回(遠隔)	平成25年11月6日	各コア校	41	済	
・第7回	平成25年12月18日	愛媛大学	29	済	
・第8回(遠隔)	平成26年1月29日	各コア校	38	済	
・第9回	平成26年3月11日	各コア校			
③ 事業評価委員会	平成26年3月20日	愛媛大学			
④ 監査	平成26年3月28日	愛媛大学			ネットワーク総会と同日開催
⑤ その他					
(i) FD／SD分科会	平成26年3月28日	愛媛大学			ネットワーク総会と同日開催
(ii) SPOD加盟校県内会議					
・徳島県内	第1回 平成25年5月30日	徳島大学	18	済	
・香川県内			－		
・愛媛県内	第1回 平成25年7月25日 第2回 平成26年2月3日	愛媛大学 愛媛大学	33	済	
・高知県内(遠隔)	第1回 平成25年11月21日	各加盟校	21	済	

研修プログラム実施状況(平成25年度)

平成26年1月24日現在

日程	プログラム名	主催大学	内容	受講者	遠隔	計
4月						
4月4日(木)	学生を眠らせない講義法のコツ	愛媛大学	FD/SD	21	9	30
4月4日(木)	学習動機を高める第1回目の授業づくり	愛媛大学	FD	18	11	29
4月5日(金)	教室の雰囲気を変えるクラスルーム・コントロール術	愛媛大学	FD	15	4	19
4月5日(金)	学生の能力を高める評価法のコツ	愛媛大学	FD	14	4	18
5月						
5月9日(木)～10日(金)	大学人・社会人としての基礎力養成プログラム研修(レベルⅠ)第1回	愛媛大学	SD	70		70
5月23日(木)～25日(土)	次世代リーダー養成ゼミナール(第1回)	愛媛大学	SD	18		18
5月30日(木)	第1回FD・SDセミナー	徳島大学	FD/SD	23		23
6月						
6月3日(月)	授業アンケートを見直しませんか?—アンケートの効果的实施と活用方法—	徳島工業短期大学	FD	13		13
6月4日(火)	管理監督者のためのメンタルヘルス研修	愛媛大学	FD/SD	38		38
6月7日(金)	クラスルームコントロール	弓削商船高等専門学校	FD	21		21
6月11日(火)	担任教員に求められること —担任スキル開発ワーク—	新居浜工業高等専門学校	FD	39		39
6月13日(木)～14日(金)	講師養成研修	愛媛大学	SD	12		12
6月15日(土)	教職員のためのPowerPoint—分かりやすい話の組み立て方・資料作成・分かり易い話し方—	香川短期大学	FD/SD	54		54
6月20(木)	教育の質保証と学習成果アセスメント	松山大学	FD/SD	34		34
6月22日(土)～6月23日(日)	FDファシリテーター・FD担当者養成研修	徳島大学	FDer	14		14
6月28日(金)	若手・中堅職員のための判断力・決断力養成講座	香川大学	SD	57		57
7月						
7月2日(火)	学生の学ぶ意欲を引き出す授業とは?	愛媛県立医療技術大学	FD/SD	24		24
7月4日(木)～5日(金)	大学人・社会人としての基礎力養成プログラム研修(レベルⅢ)	愛媛大学	SD	19		19
7月6日(土)～7日(日)	第20回授業デザインワークショップ	愛媛大学	FD	24		24
7月8日(月)	ティーチング・ポートフォリオ更新ワークショップ	愛媛大学	FD	4		4
7月11日(木)～12日(金)	学務系職員養成プログラム研修(レベルⅡ)	愛媛大学	SD	21		21
7月18日(木)	大学職員のための企画力養成講座	高知大学	SD	24		24
7月26日(金)	第2回FD・SDセミナー	徳島大学	FD/SD	18		18
7月26日(金)	若手・中堅職員のための判断力・決断力養成講座	高知工科大学	SD	34		34
8月						
8月1日(木)	担任教員に求められること—担任スキル開発ワーク—	高知工業高等専門学校	FD	19		19
8月1日(木)～3日(土)	次世代リーダー養成ゼミナール(第2回)	南大阪コンソーシアム (会場提供)	SD	91		91
8月19日(月)	授業に活かせる理解と記憶の教育学	香川県立保健医療大学	FD	33		33
8月27日(火)	動機を高め記憶に残る講義法—動機と記憶の理論—	愛媛大学	FD/SD	17		17
8月30日(金)	ルーブリック評価入門—ブレない・速い・楽チン成績評価のススメ—	愛媛大学	FD/SD	11	20	31

日程	プログラム名	主催大学	内容	受講者	遠隔	計
8月30日(金)	講義のための話し方入門	愛媛大学	FD/SD	8	40	48
8月30日(金)	若手・中堅職員のための判断力・決断力養成講座	聖カトリナ大学・聖カトリナ大学 短期大学部	SD	43		43
8月30日(金)～31日(土)	教育力開発基礎プログラム	徳島大学	FD	35		35
8月下旬(SPODフォーラム)	グラフィック・シラバスの作成方法	愛媛大学	FD	16		16
8月下旬(SPODフォーラム)	学習評価の基本	愛媛大学	FD	42		42
8月下旬(SPODフォーラム)	効果的なグループワークの進め方	愛媛大学	FD	42		42
8月下旬(SPODフォーラム)	大人数講義法の基本	愛媛大学	FD	50		50
8月下旬(SPODフォーラム)	高等教育トップリーダーセミナー	愛媛大学	FD/SD	77		77
8月下旬(SPODフォーラム)	学務系職員養成プログラム研修(レベルⅠ)	愛媛大学	SD	51		51
9月						
9月2日(月)～3日(火)	学生の学びを支援する授業準備ワークショップ	高知大学	FD	9		9
9月2日(月)～9月4日(水)	第21回授業デザインワークショップ	愛媛大学	FD	21		21
9月3日(火)	Adobe Premiereを使った動画教材作成法	愛媛大学	FD/SD	17		17
9月5日(木)	講義に小グループ・ペア学習を取り入れた授業デザイン —考え方と進め方—	高知大学	FD	2		2
9月5日(木)	スタッフ・ポートフォリオ入門—職員と大学が共に輝くために—	高知県立大学	SD	33		33
9月6日(金)	コミュニケーションで知識を蓄えるTBLチーム基盤型学習法	高知大学	FD*	1		1
9月6日(金)	パワーポイント2010基本技・便利技	愛媛大学	FD/SD	20		20
9月6日(金)	学習者の学習意欲を高める授業設計を行うためのインストラクショナル・デザイン(ID)入門—ARCS 動機づけモデルの活用—	愛媛大学	FD/SD	6		6
9月6日(金)	授業に活かせる理解と記憶の教育学	高知学園短期大学	FD	36		36
9月10日(火)	英語で授業を教えたい教員のためのワークショップ	愛媛大学	FD	11		11
9月10日(火)	大人数講義法の基本(遠隔配信プログラム)	愛媛大学	FD		27	27
9月10日(火)～12日(木)	マンネリ化しない公開授業の秘訣 —公開授業の効果的実践方法—	四国大学・四国大学短期大学部	FD	88		
9月12日(木)	成績評価とフィードバック —評価の原則からルーブリック評価まで—	高知大学	FD	—		—
9月12日(木)	教えないで成績を上げるTBL(チーム基盤型学習)という授業方法	徳島文理大学・徳島文理大学 短期大学部	FD*	28	21	49
9月12日(木)～13日(金)	新任教員研修会「よりよい授業のためのFDワークショップ」	香川大学	FD	11		11
9月12日(木)～13日(金)	教える仕事に就きたい大学院生のためのワークショップ	愛媛大学	プレFD	—		—
9月13日(金)	教職員のためのPowerPoint—分かりやすい話の組み立て方・資料作成・分かり易い話し方—	愛媛大学	FD/SD	12		12
9月17日(火)	効果的なeラーニング活用法	愛媛大学	FD	9		9
9月17日(火)	聴覚障がい学生支援における合理的配慮とは	愛媛大学	FD	19		19
9月17日(火)	LMS(Moodle)の講義への活用術	香川大学	FD	5		5
9月17日(火)	大人数講義を魅力的にするテクニック	香川大学	FD	7		7
9月17日(火)～18日(水)	ティーチング・ポートフォリオ開発ワークショップ<西四国対象>	愛媛大学	FD	15		15
9月17日(火)～18日(水)	アカデミック・ポートフォリオ作成ワークショップ	愛媛大学	FD	2		2
9月18日(水)	基礎から学ぶ学習評価法	高松大学・高松短期大学	FD	44		44
9月18日(水)	学習意欲を高める授業づくり —学生はどんなときに学んでいるのか?—	今治明德短期大学	FD	20		20

日程	プログラム名	主催大学	内容	受講者	遠隔	計
9月20日(金)	eラーニング入門—Moodleソフトを活用してきめ細やかな学習支援を実現しよう—	愛媛大学	FD/SD	17		17
9月20日(金)	高等教育機関における安全衛生	愛媛大学	SD	15		15
9月26日(木)～27日(金)	大学人・社会人としての基礎力養成プログラム研修(レベルⅡ)	愛媛大学	SD	20		20
9月26日(木)～27日(金)	ファシリテーション力養成道場	高知大学	プレFD	20		20
9月30日(月)	TA講習	高知大学	プレFD	13		13
10月						
10月4日(金)～6日(日)	FDer養成講座、SDC養成講座	愛媛大学	FD/SD	82		82
10月17日(木)～18日(金)	大学人・社会人としての基礎力養成プログラム研修(レベルⅠ)第2回	愛媛大学	SD	48		48
10月31日(木)～11月1日(金)	国際連携系職員養成プログラム開発ワークショップ	愛媛大学	SD	26		16
11月						
11月8日(金)	講師養成研修	愛媛大学	SD	10		10
11月8日(金)	第3回FD・SDセミナー 学習者の学習意欲を高める授業設計を行うためのインストラクショナル・デザイン(ID)入門—ARCS動機づけモデルの活用—	徳島大学	FD＊/SD	14		14
11月14日(木)～16日(土)	次世代リーダー養成ゼミナール(第3回)	香川大学	SD	30		30
11月15日(金)～17日(日)	高専ティーチング・ポートフォリオ作成ワークショップ	愛媛大学	FD	2		2
11月28日(木)	学生の学ぶ意欲を引き出す授業とは？	阿南工業高等専門学校	FD	54		54
12月						
12月10日(火)～11日(水)	大学人・社会人としての基礎力養成プログラム研修(共通科目)	愛媛大学	SD	39		39
12月13日(金)	学生の参加を促す授業方法	香川大学	FD	6		6
12月13日(金)	初年次教育をアクティブに動かす方法	香川大学	FD	8		8
12月16日(月)	学生の学びを促すシラバスの書き方	香川大学	FD	—		—
12月16日(月)	基礎から学ぶ学習評価法	香川大学	FD	—		—
12月17日(火)	クリッカーで教育・研究が変わる！	香川大学	FD/SD	5		5
12月26日(木)	大学教育カンファレンスin徳島	徳島大学	FD/SD	135		135
1月						
1月15日(水)	学生の授業時間外学習を促すシラバス作成法	愛媛大学	FD/SD	10	eラーニング 21名	31
1月22日(水)	学生の学びを引き出すためのシラバスの書き方	高知大学	FD＊	4		4
1月23日(木)～24日(金)	次世代リーダー養成ゼミナール(第4回)	徳島大学	SD	18		18
1月24日(金)	第4回FD・SDセミナー	徳島大学	FD/SD	20		20
2月						
2月7日(金)～8日(土)	ファシリテーション力養成道場	高知大学	プレFD			
2月28日(金)	「プレゼンテーションの方法」の教え方	香川大学	FD			
2月28日(金)	「レポートの書き方」の教え方	香川大学	FD			
3月						
3月4日(火)	「日本語技法」の教え方 1	香川大学	FD			
3月4日(火)	「日本語技法」の教え方 2	香川大学	FD			
3月5日(水)	愛媛大学教育改革シンポジウム	愛媛大学	FD＊/SD			

日程	プログラム名	主催大学	内容	受講者	遠隔	計
3月6日(木)～8日(土)	ティーチング・ポートフォリオ開発ワークショップ＜東四国対象＞	徳島大学	FD			
3月7日(金)	協同学習の基本(入門編)	香川大学	FD			
3月7日(金)	「情報整理の方法」の教え方	香川大学	FD			
3月20日(木)	授業効果を高めるために授業の最初にすべきこと	高知大学	FD*			
3月26日(水)	初年次科目のためのグループワークの技法	高知大学	FD			
3月27日(木)	能動的学習支援者必須！グループワークのためのファシリテーション入門	高知大学	FD*			
3月31日(月)	TA講習	高知大学	プレFD			
3月中	教育系外部資金獲得のためのワークショップ	愛媛大学	FD/SD			
未定	希望なし(FD・SDを効果的に進める組織づくり～事例紹介とお悩み相談～)	四国学院大学	FD/SD			
未定(年4回程度)	FD・SDセミナー	徳島大学	FD/SD			
未定	授業へのグループワークの効果的な導入	香川大学	FD			

平成25年度SPOD加盟校内講師派遣プログラム実施状況一覧

資料1-3

	大学等名	区分	プログラム名	開催日	参加者数	講師担当校	講師	備考
徳島	徳島大学	FD	学習者の学習意欲を高める授業設計を行うためのインストラクショナル・デザイン(ID)入門～ARCS動機づけモデルの活用～	11月8日(金)	12	愛媛大学	仲道	
	鳴門教育大学	FD・SD	希望なし(FD・SDを効果的に進める組織づくり～事例紹介とお悩み相談～)	未定	—	徳島大学	—	
	四国大学・四国大学短期大学部	FD	マンネリ化しない公開授業の秘訣～公開授業の効果的実施方法～	9月11日(水)	88	徳島大学	川野	
	徳島文理大学・徳島文理大学短期大学部	FD	教えないで成績を上げるTBL(チーム基盤型学習)という授業方法	9月12日(木)	49	高知大学	立川	
	徳島工業短期大学	FD	授業アンケートを見直しませんか?～アンケートの効果的実施と活用方法～	6月3日(月)	13	高知大学	塩崎	
	阿南工業高等専門学校	FD	学生の学ぶ意欲を引き出す授業とは?	11月28日(木)	54	香川大学	岩中	
香川	香川大学	SD	若手・中堅職員のための判断力・決断力養成講座	6月28日(金)	57	愛媛大学	秦	
	香川県立保健医療大学	FD	授業に活かせる理解と記憶の教育学	8月19日(月)	33	愛媛大学	佐藤	
	四国学院大学	FD・SD	希望なし(FD・SDを効果的に進める組織づくり～事例紹介とお悩み相談～)	未定	—	香川大学	—	
	高松大学・高松短期大学	FD	基礎から学ぶ学習評価法	9月18日(水)	44	香川大学	佐藤	
	香川短期大学	FD・SD	教職員のためのPowerPoint ～分かりやすい話の組み立て方・資料作成・分かり易い話し方～	6月15日(土)	54	高知大学	立川	
	香川高等専門学校	FD・SD	希望なし(FD・SDを効果的に進める組織づくり～事例紹介とお悩み相談～)	—	—	香川大学	—	
愛媛	愛媛大学	FD・SD	教職員のためのPowerPoint ～分かりやすい話の組み立て方・資料作成・分かり易い話し方～	9月13日(金)	12	高知大学	立川	
	愛媛県立医療技術大学	FD	学生の学ぶ意欲を引き出す授業とは?	7月2日(火)	24	香川大学	岩中	
	聖カタリナ大学・聖カタリナ大学短期大学部	SD	若手・中堅職員のための判断力・決断力養成講座	8月30日(金)	43	愛媛大学	仲道	
	松山大学・松山短期大学	FD・SD	教育の質保証と学習成果アセスメント	6月20日(木)	34	愛媛大学	山田	
	松山東雲女子大学・松山東雲短期大学	FD・SD	希望なし(FD・SDを効果的に進める組織づくり～事例紹介とお悩み相談～)	未定	—	愛媛大学	—	
	今治明德短期大学	FD	学生の学ぶ意欲を引き出す授業とは?	9月18日(水)	20	高知大学	俣野	
	環太平洋大学短期大学部	FD・SD	学生の自立を促す学生支援の実践とコツ	9月24日(火)	18	徳島大学	吉田	
	新居浜工業高等専門学校	FD	担任教員に求められること～担任スキル開発ワーク～	6月11日(火)	39	阿南工業高等専門学校	坪井	
	弓削商船高等専門学校	FD	クラスルームコントロール	6月7日(金)	21	愛媛大学	秦	
高知	高知大学	SD	大学職員のための企画力養成講座	7月18日(木)	24	愛媛大学	阿部	
	高知県立大学・高知短期大学	SD	スタッフ・ポートフォリオ入門～職員と大学が共に輝くために～	9月5日(木)	33	愛媛大学	阿部	
	高知工科大学	SD	若手・中堅職員のための判断力・決断力養成講座	7月26日(金)	34	愛媛大学	阿部	
	高知学園短期大学	FD	授業に活かせる理解と記憶の教育学	9月6日(金)	36	愛媛大学	佐藤	
	高知工業高等専門学校	FD	担任教員に求められること～担任スキル開発ワーク～	8月1日(木)	19	阿南工業高等専門学校	坪井	

平成26年度SPOD事業計画（案）

※赤字：平成25年度事業からの追加・変更事項（日程の変更等，軽微なものは除く）

1. FD事業

- ・新規採用教員研修（年5回） 開催場所：各コア校 ※愛媛大学は2回実施
- ~~・FDファシリテーター（FD担当者）養成研修（年1回） 開催場所：徳島大学~~
- ~~・ファカルティ・ディベロッパ（FDeR）養成研修（年1回）~~
開催場所：~~京都市内~~ 共催：~~大学コンソーシアム京都，日本高等教育開発協会（予定）~~
- ~~※教職員能力開発拠点（愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室）の事業として実施~~
- ・ティーチング・ポートフォリオ作成ワークショップ（年3回）
 - ①全加盟校教員対象（年2回）
 - 開催場所：東四国－徳島大学 西四国－愛媛大学
 - 共催：大学評価・学位授与機構（予定）
 - ②高専対象（年1回） 開催場所：愛媛大学 共催：大学評価・学位授与機構（予定）
- ・ティーチング・ポートフォリオ更新ワークショップ（年1回）
 - 開催場所：愛媛大学または徳島大学 共催：大学評価・学位授与機構（予定）
- ・アカデミック・ポートフォリオ作成ワークショップ（年1回）
 - 開催場所：愛媛大学 共催：大学評価・学位授与機構（予定）
- ・各種FDプログラムの開発・実施 開催場所：各加盟校
 - 研修プログラムガイド2014に掲載したプログラム，派遣事業プログラム

2. SD事業

- ・~~職員のための講師養成講座プログラム~~（年2回） 開催場所：愛媛大学1回，コア校1回
平成25年6月中旬・平成25年11月上旬
※主担当校：SPOD事務局 協力校：愛媛大学
- ・大学人・社会人としての基礎力養成プログラム（年5回）
 - 開催場所：~~徳島大学~~，愛媛大学
 - レベルⅠ（新任職員研修） 1回 5月上旬（~~徳島大学~~）
 - レベルⅠ 1回 10月中旬（愛媛大学）
 - レベルⅡ 1回 9月下旬（愛媛大学）
 - レベルⅢ 1回 7月上旬（愛媛大学）
 - 共通科目 1回 12月上旬（愛媛大学）
 - ※主担当：SPOD事務局 協力校：~~徳島大学~~，愛媛大学
- ・学務系職員養成プログラム（年~~2~~1回） 開催場所：~~四国大学，愛媛大学~~
レベルⅠ 1回 7月24日（木）～25日（金）（四国大学）
- ・社会連携系職員養成研修（年1回） 開催場所：~~高知大学~~
 - ※SPODフォーラム2014において開催
 - ※主担当：SPOD事務局 協力校：~~高知大学~~，愛媛大学
- ・国際連携系職員養成研修（年1回） 開催場所：~~高知大学~~
 - ※SPODフォーラム2014において開催
 - ※主担当：SPOD事務局 協力校：~~高知大学~~，愛媛大学
- ・次世代リーダー養成ゼミナール（年4回）
 - 平成26年度受講者対象 4回，平成27年度受講者対象 4回

開催場所：徳島県，香川県，愛媛県

第1回 5月下旬 愛媛

第2回 8月上旬 徳島

第3回 11月上旬 愛媛

第4回 平成27年1月下旬 香川

※主担当：SPOD事務局 協力校：高知大学

- ・高等教育トップリーダーセミナー（年1回） 開催場所：高知大学

SPODフォーラム2014で実施

※主担当：SPOD事務局 協力校：香川大学

- ・スタッフ・ポートフォリオの開発

ワークショップをSPODフォーラム2014で実施

- ・各種SDプログラムの開発・実施 開催場所：各加盟校

研修プログラムガイド2014掲載したプログラム，派遣事業プログラム

- ・SDコーディネーター養成講座（年1回）

※教職員能力開発拠点（愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室）の事業として実施

3. SPODフォーラム

- ・平成26年8月27日（水）～29日（金）開催場所：高知大学

全体テーマ

「“気づき”と“振り返り”が大学を変える ～成長を確かなものにするために～」

※教職員能力開発拠点（愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室）と共催

4. SPOD共通事業

- ・SPOD内講師派遣（加盟校単位 各1回 計26回） 開催場所：各加盟校

ただし，短期大学及び短期大学部が併設されている4年制大学については，あわせて1回とする。詳細は，研修プログラムガイド2014に掲載

~~・遠隔専用セミナー「SPODチャンネル」の配信~~

- ・SPOD将来構想ワーキンググループ

- ・調査研究プロジェクト事業（年3回）

①高等教育教授能力証明プログラム検討ワーキンググループ（FD部門）

②連携効果検証ワーキンググループ（FD部門）

③組織変容検証ワーキンググループ（FD部門）

④学生調査・IRワーキンググループ（FD部門）

⑤連携効果・組織変容検証ワーキンググループ（SD部門）

5. SPOD運営

①総会（年1回） 平成27年3月頃

②ネットワークコア運営協議会（毎月）

③事業評価委員会（年1回） 平成27年3月頃

④監査（年1回） 平成27年3月頃

⑤その他

i. FD／SD分科会

- ・FD分科会（年1回） 総会と同日開催（平成27年3月頃）

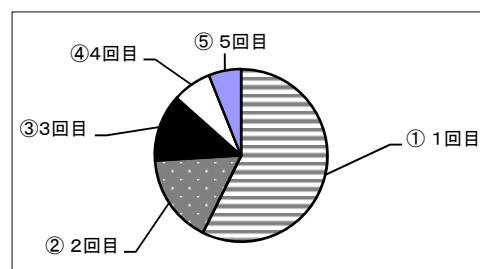
- ・ S D分科会（年1回） 総会と同日開催（平成27年3月頃）
- ii. S P O D加盟校県内会議
 - ・ 徳島県内（随時）
 - ・ 香川県内（随時）
 - ・ 愛媛県内（随時）
 - ・ 高知県内（随時）

SPODフォーラム2013事前アンケート集計結果

アンケート回答者数：478名（webでの受講申込時に実施）

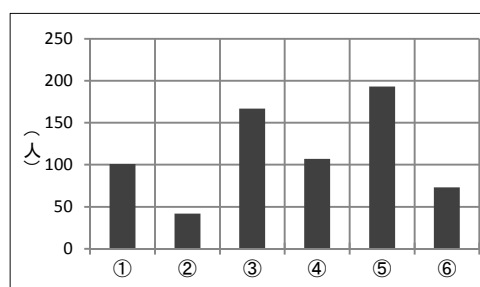
1. SPODフォーラムの参加は何回目ですか？

	度数	割合
① 1回目	274	57.3%
② 2回目	80	16.7%
③ 3回目	60	12.6%
④ 4回目	35	7.3%
⑤ 5回目	29	6.1%
計	478	100.0%



2. SPODフォーラムをどこで知りましたか？（複数選択可）

	度数	割合
① SPODホームページ	101	21.1%
② SPODメールマガジン	42	8.8%
③ SPODフォーラムチラシ	167	34.9%
④ SPOD研修プログラムガイド2013	107	22.4%
⑤ SPOD関係者からの案内	193	40.4%
⑥ その他	73	15.3%
アンケート回答者数	478	

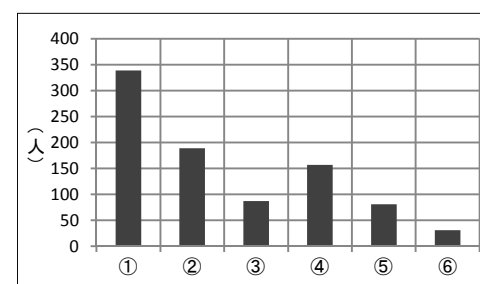


その他の記述内容

- ・ テニユアトラックのガイダンス(12)
- ・ 職場での案内(23)
- ・ 関係者による講演会で(2)
- ・ 参加者の口コミ(3)
- ・ 研修担当者からの案内(8)
- ・ 大学コンソーシアム京都から
- ・ 南大阪地域大学コンソーシアム
- ・ 広島大学高等教育研究開発センターメールマガジン
- ・ 昨年度参加した東北SDフォーラム
- ・ 上司からの案内(3)
- ・ あさがおML(2)

3. SPODフォーラムに参加した動機は何ですか？（複数選択可）

	度数	割合
① 自分自身の能力開発のため	339	70.9%
② 組織の課題を解決するヒントを得るため	189	39.5%
③ 組織を超えた人脈づくりのため	87	18.2%
④ FDやSDに関する情報収集のため	157	32.8%
⑤ 上司に参加をすすめられたため	81	16.9%
⑥ その他	31	6.5%
アンケート回答者数	478	



その他の記述内容

- ・ テニユアトラックの研修(14)
- ・ 新任採用における指導の一環のため
- ・ 帰省のついで
- ・ 大学からすすめられた(3)
- ・ 研修のため
- ・ 本学の研修プログラムの一つであるため
- ・ 勉強会実施のため
- ・ 大学としての方針・取組みを知るため

S P O Dフォーラム2013参加者からの要望等について

■開催時期／期間について

- ・日程は、今のような8月後半以外は設定しづらいのではないのでしょうか。
- ・時期は、お盆明けの20日以降が良い。
- ・開催が夏休み期間中の平日なのは参加しやすいです。
- ・夏休み等学生の授業期間外は卒研・修論指導が最も重点的に行える貴重な時期ですので、できれば通常の授業期間内にも開催してほしいと思います。
- ・プログラムが多いので開催日程が4日間になるのはやむをえないかもしれませんが、少し長いように思います。
- ・開催時期・開催地も都合が付けやすく、続けていただきたい。

対応（案）

過去の実績に基づき、教職員が最も参加しやすい夏季休業中の平日に開催する。なお、来年度は高知大学で8月27日（水）～29日（金）の3日間で開催する予定である。

■開催会場について

- ・会場は、四国の大学の持ち回り、でよろしいかと思います。
- ・会場は、できる限り公共交通機関を利用しやすい施設にしていきたい。
- ・中国地方から参加したので、愛媛大学での開催は利便性が高かったです。

対応（案）

昨年度徳島大学で開催したところ、新たな参加者の獲得に繋がったことから、各校の規模やマンパワー等の事情を考慮しながら四国内持ち回り開催について引き続き検討する。なお、来年度は高知大学での開催を予定している。

■広報活動について

- ・興味のあるプログラムが同じ時間に開講されていたりしたので、また来年も参加したいと思うが、来年度の予定など決まっていることがあったら早めに知りたいです。

対応（案）

メールマガジン登録者には既に次回フォーラムの開催日程を通知しているが、例年、4月に開催日程をS P O DのHPで通知し、具体的なプログラムについては6月にS P O DのHPやチラシで案内している。また、S P O D加盟校内においては、関連会議等を通じて案内しているが、情報が確定次第、速やかに案内していく。

■プログラム内容の事前周知について

- ・初めての参加だったからかもしれませんが、それぞれの内容が、どのようなものであるか、事前の案内だけではよく理解できず、ただ、タイトルだけで選択せざるを得なかった。
- ・大学教員で言えば、そのキャリア形成（新任・若手・中堅・ベテラン、私立／国立など）のプロセスに合わせて、お薦めのプログラム例を示してもらう（あるかもしれませんが）とありがたいです。
- ・前年度の同名講座で使用された資料を公開いただくと、講座選択に大きく資する。
- ・ランチセッションについて、チラシの表記が分かりにくい。参加したい人だけが参加するものだと思っていた。

対応（案）

- ・従来から各プログラムのシラバスを申込みHPで公開していることに加え、今年度はプログラム冊子版のシラバスもPDFで掲載したが、依然として同様の要望が寄せられている。次回以降、HPのシラバスにアクセスするQRコードをチラシに追加する等、プログラム選択時にシラバスを確認していただくよう案内を更に工夫する。
- ・過去のフォーラムにおいて講師の承諾を得たプログラムの資料については、SPODのHPに掲載している。申込み画面にリンクを貼る等、プログラムの選択時に参考としていただけるようわかりやすく掲載する。
- ・ランチセッションの構成及び内容について、講師に一任していたため、案内が不明瞭だった。次回以降、ランチセッション又はそれに代わる交流の場としてのプログラムを実施する場合は、受講者へわかりやすく案内する。

■参加者間の交流について

- ・他機関の方との情報交換ができる時間がもう少しあれば、講習とは別に得られるものも多くなるのではないかと思います。
- ・FDに関心をもつ若手教員同士の交流の場、FDの全体計画を気軽に話すことのできる場があれば、よいと思いました。

対応（案）

- ・例年、参加者相互の交流を図ることを目的として、リフレッシュルームの設置や懇親会の開催のほか、ラウンドテーブル、ランチオンセミナーや連続受講プログラムを設ける等、色々工夫しているところであるが、上記で指摘されたように案内が不明瞭だったため、講師及び受講者にその意図が十分に伝わっていなかった。今後は各種取組について、参加者にその意義を含めて周知し、交流の促進を図る。
- ・来年度以降、ポスターセッションを含め、参加者間の交流を図る新しい企画についても検討する。

■プログラム構成について

- ・参加したいプログラムの時間が重なってしまい、どちらか片方にしか参加できないこと。
- ・聞きたい研修が時間的に重なっていることがあり、残念でした。人気の高い研修は、日にちをずらしてリピートしてもらえると受けられようになるかもしれません。
- ・SPODフォーラムには、通常のSPODの「集中講義」と、SPODの活動を広く知らせるための「オープンキャンパス」との二重の役割があることで、通常のSPOD内部でのプログラム運営と異なる困難があるのではないかと推察します。そのため、プログラムによっては、内容を詰め込まざるをえず、グループワークの時間が限られるなど、消化不良感を生んでしまうこともあるのではないのでしょうか。
- ・セッションが内容盛りだくさんになっている場合があるので、消化不良で終わってしまったものもあります。そのようなものについては、論点をしぼった方がよいように思われます。
- ・着任間もない教職員が最初に受けると良い研修プログラムがもう少しあっても良いように思う。リピーターを募って、フォーラム全体のレベルを上げていくことも大事だが、新参加者に加わってもらうこともまた大切である。
- ・大学職員の参加が多いように思われましたが、もっと大学教員の参加者が多くなるようなセッションを増やしてほしいと思います。
- ・内容的に毎年同じものをやっている、というところがあるのではないのでしょうか。やや、プログラムの内容がマンネリ気味になっている部分があるように思いました。
- ・プログラムによってはあまり効果的でないと感じるものもあったので、90分という限られた時間の中でも価値がある内容かどうかを再検討して頂くと、全体としてよりよいフォーラムになるのではないかと思います。

対応（案）

- ・プログラムの内容を考慮し、受講対象者が重複すると推測されるプログラムについて、同時刻の実施を避ける等、バランスのとれたスケジュールに留意する。
- ・フォーラムはこれまで5回開催しており、全体的に好評を得ているが、プログラム構成について賛否様々なご意見をいただいている。各プログラムの内容及びレベル設定については、今年度設置される将来構想ワーキンググループの中でいただいたご意見を踏まえて検討していく。
- ・各プログラムの内容については、マンネリ化を防ぐため、時代のニーズに沿う新たなプログラムを開発している。その一方で人気の高いプログラムについては2年以上開講することとしており、リピーターの確保に繋げている。
- ・新たな参加者の獲得については、魅力的なプログラムの開発等、事務局でも努力しているところであるが、参加者の方にも各職場等において、フォーラムへの参加案内にご協力いただきたい。
- ・その他、アンケート集計結果や受講者のニーズに沿うプログラムの提供に止まらず、他のネットワークや外部機関等と連携しての開催等新たな取組も検討していく。

■プログラムの進行・運営について

- ・グループワークが多すぎる。グループワークを体感するのは構わないが、毎度同じやり方で、同じメンツでは、飽きてしまう。
- ・全ての講義でグループワークがあり、飽きてしまった。その時間を利用してもっといろいろ学ぶ時間が持てたように思う。
- ・グループメンバーを所属別に予め決めておいてもらえると、色々な方と関わりになれると思う。
- ・一つ一つのコマのスケジュールを最初に共有していただきたいと思いました。
- ・全てのプログラムに参加はできませんので、自分が参加させていただいたプログラムのみでの感想ですが、手持ちの資料なしでの、パワーポイントで解説のみのプログラム内容も一部ありました。（若手研修）レジュメはのちの報告書作成や、自分の受講内容のフィードバックにも役立つので、必ず簡単でよいので、発表者それぞれ用意していただきたいです。
- ・今回、複数受講しました。残念ながら「●●●●」では、得られたものが少なく感じられました。

対応（案）

- ・SPODフォーラムでは、ワークショップ形式の実践的なプログラムを多数提供している。この特質は、SPODフォーラムの目的の一つである参加者の相互交流にも繋がると考えるが、グループワークの手法の多様化を検討すると同時に、講師のスキルアップを図っていくよう改善に努める。また、グループワークの比重が大きいプログラムについては、その旨シラバスに記載する等、プログラムの進行に関する情報を提供いただくよう講師に依頼する。
- ・講師から希望のあったプログラムについては、予め職種や所属を考慮の上、グループ分けを行っている。グループの指定がない場合は、同じ所属の方とは別グループに着席いただくよう会場受付で呼びかけるほか、講習冒頭に講師からも、受講者がより多くの方と交流いただけるグループメンバーとなるよう促していただく。
- ・講習冒頭でのスケジュール案内や配付資料については、いただいたご意見を参考に、講師依頼の際、受講者にご配慮いただくよう依頼する。
- ・プログラム内容及び講師の質向上のため、各プログラムの個別アンケートの集計結果を担当講師に開示している。また、上記のご意見を講師に周知することにより一層の質保証を図る。

■シンポジウムについて

- ・メインのシンポジウムの定員を増やしてほしい。
- ・シンポジウム「ポートフォリオは大学教育の質向上に貢献できるか？」について、場の雰囲気は良かったが、事例紹介が別個のポートフォリオであったためにメリット・デメリットの比較をすることができず、またパネリスト同士の討論結果もセンセーショナルなタイトルに反し「質向上に貢献できる」であっさり完結してしまったことに不満。

対応（案）

- ・開催校の中でも大人数収容可能な施設を会場としているが、定員には限りがある。できるだけ多くの方に受講していただけるよう、当日受講希望者の受入れを今後も行っていく。
- ・今年度は会場全体でテーマについて考えることができるよう、Twitter を利用して受講者の意見を受け付ける試みを行った。毎年新しいアイデアを導入し、受講者にご満足いただけるよう改善に努めているが、引き続きいただいたご意見を踏まえて検討する。

■運営上の要望について

- ・初めてのせいか、場所を勘違いして間違えたり、会場の建物に辿り着いても部屋の案内がなく迷ったことがありました。
- ・会場の誘導案内が小さく、分かりにくかったように感じました。
- ・スペースの問題なのですが、休憩所がもう少し広いと助かるかな、と思いました。
- ・自動車での乗り入れを許可していただきたい。
- ・既に満杯のコースであっても、キャンセルなどで「空き」ができれば参加できるような柔軟性があってもよい。
- ・このアンケート実施が遅すぎる。その日ならもっと記入できることが、時間の経過と共に記憶が薄れて行き、書くことができない。

対応（案）

- ・会場の設営にあたり、誘導及び案内を適所に大きく表示する。
- ・休憩所については、会場校の都合上ご要望に添えないこともあるが、スペースの確保に努める。
- ・駐車場については、スペースの確保が難しいため、原則公共交通機関での来場をお願いせざるを得ない。
- ・定員に空きがあるプログラムについては、当日受付を行っている。プログラムの性質上、受入れることができないものもあるが、受入れ可能なプログラムについては、引き続き当日受付を行うとともに、その案内方法を工夫する。
- ・事後アンケートについては、これまでフォーラム終了直後に実施していたが、今回は参加者がフォーラムで得た知識やスキルを実際に活用しているか検証するために、実施時期を遅らせた。フォーラムに関する意見や要望については、フォーラム直後の実施が効果的であるが、効果検証の面では実施時期を遅らせる方が効果的だと思われる。今後は、それらの観点を踏まえ、事後アンケートのほか、効果検証の調査として、参加者の皆様にご協力をお願いすることとする。

■その他

- ・フォーラムの振り返りのグループワークなどがあるとなおいいと思った。

対応（案）

・プログラムの構成上、フォーラム期間中に振り返りのプログラムを設けることは難しい。フォーラムで提供しているプログラムは実践的なものが多いため、修得した知識やスキルを所属機関内で共有していただき、日常の業務を通して振り返りを行っていただきたい。なお、その成果について、可能な範囲で事務局までご報告いただければ、今後のSPOD事業の改善に活用させていただくことができると思われる。

SPODフォーラム2013 県内加盟校からの運営スタッフとしてのコメント

番号	コメント
1	総合受付・シンポジウム補助として配置されました。手持ち無沙汰にならないよう、常に役割を与えていただきました。業務量としてはお手伝いというより、勉強させていただいている感じでしたが、事前説明等を考えると、十分に関わらせていただいたと思っています。空き時間に他の機関の方と交流の機会を持てたことも、非常に有意義でした。ありがとうございました。
2	総合受付と会場補助の担当として配置されました。事前にマニュアルが送付されていたので、だいたい内容を理解しておくことができ、当日は困惑することなく、応援の協力ができたと思います。休憩時間等に他大学の運営スタッフの方の話をいろいろ聞けたので良かったです。
3	フォーラム最終日の総合受付をお手伝いしましたが、総合受付に来られる方が少なかったため、時折、時間を持て余していましたが、当初予定ではなかった別のお手伝いにも配置して頂いたり、裏方として動かれている担当の方の臨機応変さにとても関心いたしました。また、普段あまり関わることのない他大学の他部署の方とコミュニケーションを取ることができたのも良い機会だったと思います。
4	フォーラム当日は会場担当として配置され、他大学の運営スタッフの方々の様子を拝見しながら運営方法や来場された方への対応などを見ることができ、とても勉強になりました。私が担当した時間帯はあまり多くの方が来場されなかったので、手が空いている時間もありましたが、普段ほとんど交流のない他大学の方々とお話をすることができたのが、とてもよかったと感じました。お世話になりました。
5	当日はカメラ撮影等で配置されました。簡単な業務であったので、スムーズに業務を遂行することが出来ました。また、他大学でのイベントの運営方法を参考にさせていただき、良い勉強になりました。他大学の職員と情報交換等ができ、面識も出来ましたので良い機会になりました。
6	仕事がほとんどありませんでした。もう少し、仕事を手伝いたかったです。
7	会場担当 実施マニュアルがあり、やる仕事を確認ができたので特に問題なく運営できよかった。

平成24年度SPOD事業評価委員会からの指摘事項に対する対応状況について（案）

【すぐに検討が必要な課題】		事項		評価委員からの意見		実施状況(案)(◎実施済み、○一部実施、×未実施)		対応策(平成25年度第3回ネットワークコア運営協議会承認)	
1. 多様なニーズに応じた 研修プログラムの開発	①	【FD】 現在在職している教員が学生時代を過ごした大学の授業経験とは全く異なったポリシーで教育改革が進もうとしている。このような新たな動きを的確にFDの中で研鑽できるようなプログラムの提供を願いたい。特に授業外で学生が学習しなければならないような授業をどのようにして行うかという課題は重要と考える。							SPODフォーラムでは、平成24年度はアクティブラーニング、平成25年度はポートフォリオを全体テーマとするなど、時代のニーズに沿ったプログラムの提供を行っているが、更なるプログラムの充実のため、外部機関等との共催についても検討する。学生の時間外学習についてもe-learning関連のプログラムの開発等も行っており、今後も社会の動向をとらえたプログラムを開発・展開するよう努める。 さらに、SPOD全加盟校の教員向けに実施された「SPOD教員向けニーズアンケート」の集計結果や調査・研究プロジェクトでの調査結果等を検証し、ニーズに合うプログラム開発につなげる。また、FD／SDプログラム受講者アンケートの分析を行い、レベル別、経験年数別等のプログラム開発についても検討する。 FDプログラムについては第2段階に入ってきたとも考えられ、プログラム開発においてはミクロレベルのFDからミドル、マクロレベルのFDへ視野を広げ、研修分野や研修形態等も含め、研修のあり方について見直しを検討する。 また、積極的に新規講師の開拓に努めており、今年度のフォーラムでも新たに4人が加わった。今後も、幅広いニーズに対応できるよう講師の開拓を行う。
	②	【FD】 プログラムがやや出尽くした感がある。これに伴うマンネリ化があるのではないかと(実施者自身にも)。		◎					
	③	【FD】 プログラムの内容がミクロレベルのFD(授業・教授法の改善)に偏っている。長期的な関与も含めて、ミドルレベルやマクロレベルのFDを充実させていくべきであろう。							
	④	【FD・SD共通】 教職協働は、古くて新しい課題である。どのように教員と職員とが協働して教育研究等を推進するか。FDとSDとにまたがる課題検討プログラムの開発が必要になってきているように思う。		◎					
	⑤	【SD】 次世代リーダー養成ゼミナールについては、もう少し広範に、優秀だが手を挙げたくても挙げられない職員に受講してもらう手だてを考える必要があるのではないかと。		○					
2. 教員の資格化	④	【FD】 一、新任教員研修が標準化したのであるから、教授能力証明書の発行やその基準についても、迅速に進める必要があるのではないかと。					※長期的に検討すべき課題へ移動		一調査・研究プロジェクト事業の1つ「高等教育教授能力証明プログラム検討ワーキンググループ」においてすでに議論を始めており、今後も引き続き検討を行う。
3. S D講師養成	①	【SD】 SD講師養成プログラムを利用して内部で指導者を育成する方向は適当である。ただ、それらのプログラムにおいて、講師とはこのような資格、能力が必要であるとステレオタイプに考える必要はないのではないかと。教えるという体験や経験が第一に重要である。教えるという体験や経験を通して得られた喜びや失敗や改善等を検討課題とした講師養成プログラムを是非検討願いたい。		◎					経験の少ないSD講師については、事前に模擬授業を行い、SPOD－SDC等の助言により、個性を活かした講師となるような環境が整えられている。頂いたご意見を参考に、今後も、SD講師養成に努めていく。
4. SPOD事業の取組成果の 検証、情報発信	①	【FD】 SPODが提供しているFDプログラムが、教員のニーズにキャッチアップしていないかもしれない。教員は何を求めているかという原点にもどって再度分析し、教員がこのFD出席は必須と考えるような環境とし、広報を工夫するよう求めたい。		◎					上記1－①～③への対応を含めFDで真に必要とされている研修の開発・提供に努める。 SPODホームページやメールマガジン等を活用し、SPOD事業の積極的広報及びフォーラム等の様子の一部を動画で配信するなど、プログラムガイドや実施要項では伝わらない情報を発信していく。 SPODフォーラムについては、今後他のネットワークや機関などと連携しての共催を検討し、参加者の増加やプログラムの充実を図る。 また、FDを必須とする環境については、テニユア・トラック制度を導入し、対象教員に一定時間の研修を義務づける組織も出てきている。大学設置基準等では、教員のFDが義務化されており、加盟校内の教員がSPOD事業のFDプログラムを積極的に活用してもらえるよう、当大学の事例を含め、広報活動を充実させる。
	②	【FD】 SPODフォーラムへの参加者が職員(65%)、教員(33%)と、少しアンバランスになってきている。フォーラムだけでなく、全般的に、SPODのFD事業に対する加盟校教員の関心が低くなりつつあるのではないかと。							
	③	【SD】 SDの研修会やスタッフ・ポートフォリオをこれだけ大々的に実施されておられて、職員の能力は高くなったのか。研修会参加の満足度はわかるが、これだけの規模で長期間実施されておられるので、その成果を見せていただければ、我々の役に立つ。		○					1－⑤への対応と併せ、スタッフ・ポートフォリオを活用して、研修受講後の職員を継続的に追跡していくシステムについて検討する。 次世代リーダー養成ゼミナールについては、受講生や修了生の間でネットワークが構築されており、このネットワークを活用しつつフォローアップ調査を行い、研究論文等にまとめ、公表していく。さらに、受講生が作成している報告書については、プロジェクト実践論文となるよう指導体制を強化し、現行のレポート集にとどまらない、広く成果を確認できるものとなるよう見直しを図る。また、本ゼミナールは長期的に見れば組織内における成果は十分見込めるプログラムであるが、他の研修と比較して予算だけでなく講師への負担も圧倒的に大きいため、今後受講料の一部を各機関において負担いただくことが可能かどうか調査を含め、検討していく。
	④	【SD】 次世代リーダー養成について、対象者の割には予算投資が大き過ぎると言える。プログラムの重要度は理解されるものの、このような投資に見合う成果が出ているかどうかについては大いに検討する余地がある。							
5. SPODの方向性	①	【SD】 何のためにSDを行うのか、目的がやや不鮮明な印象を受ける。							SPOD事業を開始して5年が経過する中で、実際の運用を経て当初の構想との乖離が生まれ、その課題が見えてきている。今年度はSDマップの見直しを検討しているため、SDの目的も含め実情に合ったSD構想を検討する。
	②	【組織運営等】 SPOD立ちあげ当初に描いていた構想(大学カリキュラムのようなもの)が変容しているようにも思える。一度、構想を見直し、現実的な構想を再度立てていただきたい。		○					

【すぐに検討が必要な課題】							
事項		評価委員からの意見		実施状況(案) (◎実施済み, ○一部実施, ×未実施)		対応策(平成25年度第3回ネットワークコア運営協議会承認)	
6. SPOD内ネットワークの強化		①	【組織運営等】 拠点校以外の大学の積極的な関与が見えにくい。たとえば本組織の運営に関して、各大学の役割と責任を明確にすること、積極的な役割分担を促すための支援を行うことなどが必要ではないか。	○	次世代リーダー養成ゼミナールや講師養成研修を通してSD講師の育成に努めるほか、新規FD講師を発掘しており、SPODフォーラム2013では、ネットワークコア校を除く加盟校から6名の教職員が講師を務めた。さらに、同フォーラムの運営スタッフとして、愛媛県内加盟校(愛媛大学を除く)から12名、次年度フォーラム開催地である高知大学から9名の職員が参加し、スタッフ及び参加者との交流の中でネットワーク間の連携強化へと繋がった。 また、徳島県下の加盟校によって構成される「T-SPOD会議」等、年に数回県内加盟校会議を開催する県もあり、県単位でも加盟校間の連携を図っている。 なお、平成26年度は四国大学(徳島県、私立)で学務系職員養成プログラム研修を実施することとなっており、加盟校内の講師育成等、各面で加盟校のSPOD事業への関与を高めていく。	SPOD事業の運営についてはネットワークコア校が担当することとなっているが、研修実施にあたっては、コア校以外の加盟校からも講師を担当できる者の発掘・育成に取り組んでおり、こうした形で事業へ貢献いただいている加盟校も増えてきている。また、フォーラムはSPODのメインイベントの一つでもあるため、今後実施にあたっては、開催校の教職員のみなならず、各加盟校の教職員にも当日の運営の手伝いを呼びかけるなど、各加盟校が連携して事業を進められるような体制について検討する。	
7. SPODにおける取組の評価、検証		①	【FD・SD共通】 カリキュラム／組織変容の継続的支援。複数の機関をパイロット校として、資源を投入するターゲットを絞りこみ、連携成果をあげるというアイデアについても検討するとい。現状のように単発の研修会ではなく、組織変容、カリキュラム変容を長期的に促進するというプログラムである。対面と遠隔会議を年に何回か繰り返していくというシステムである。	○	FD/SD両部門において、調査・研究プロジェクトが本格的に始動した。 FD部門では「組織変容検証ワーキンググループ」において、検証対象校の選定や設問内容の検討を始めており、調査の実施に向けて準備を進めている。 SD部門では、「連携効果・組織変容検証プロジェクトチーム」の下、ワーキングチームを発足し、次世代養成ゼミナール修了生を対象としてアンケート及びインタビュー調査を実施した。その結果、本ゼミナール修了生を管理職に充てたり、学内研修の講師に起用する等、研修の成果が所属機関内での評価に繋がっている組織を確認することができた。このことは、大学行政管理学会でも発表されており、引き続き追跡調査を行っていく。 これらの調査結果を加盟校内に発信していく。	SPODは加盟校の分担金による連携事業であるため、ある組織に絞って資源を投入するかどうかについては慎重に議論すべきである。ただし、調査・研究プロジェクト事業の1つ「組織変容検証ワーキンググループ」において、組織変容が見られる加盟校について、その経緯を調査する予定である。その結果を加盟校内で発信していくことにより、他加盟校の参考となり、組織改革の一助となることを目指す。	
8. ポートフォリオの普及促進		①	【SD】 現在のポートフォリオは、身上調書と変わらない。これをあえてポートフォリオと読んでいる意義が不鮮明である。	◎	今年度、大学行政管理学会やSPODフォーラム等でスタッフポートフォリオの有効性・特長を発表した。今後もこのような取組をとおしてその普及に努める。	スタッフポートフォリオ(SP)は、これまでの身上調書とは違い、職員の業績記録(エビデンス含む)、自らのビジョン(理念)・ゴール(目標)等を取り入れている。作成に当たっては、メンタリングを実施し、組織と職員個人のベクトルを近づけている。これらにより、職員自らがこれまでの業績に基づくキャリア形成を図ることができ、かつ、組織的な人材育成にとっても有効なツールとなっている。また、愛媛大学においては、人事異動の希望といった身上調書的な要素を取り入れた独自のSPを導入している。 このように、人材育成にとって有効なツールとなること、各組織独自のSPが考えられること等、SPには身上調書とは違った有効性や特長がある。今後、大学行政管理学会等でSPの有効性・特長を発表していくことにより、その普及に努める。	
9. SPODの事業運営		①	【組織運営等】 これから「SPODフォーラム」を毎年各県に回し、オリンピックのように4年に一回フォーラムが各県に回ってくるように定例化すると、四国全体が活性化するのはないか。	○	平成26年度のSPODフォーラム2014は高知大学での開催が決定している。事後アンケートでは参加者から他県開催の要望が寄せられており、四国各県での持ち回り開催のルール化について引き続き検討していく。	平成25年度については愛媛大学開催となるが、来年度については高知大学で開催予定である。ご提案の開催場所持ち回りの定例化については、各校の事情を考慮しながら、今後ネットワークコア運営協議会でルール化について検討していく。	

【中期的に検討すべき課題】				
評価委員からの意見		実施状況(◎実施済み, ○一部実施, △検討中, ×未実施)		対応策(案)
【組織運営等】 当初事業計画から事業も拡大し深化してきている。SPOD事業における統合と分化の方向性について、中期計画の形で参加校で共有する時期に至っているように思う。		△	SPOD設立から6年目を迎え、取組成果を検証し、高等教育の実情に即した事業を展開していくため、「SPOD将来構想ワーキンググループ」の設置に向けて申合せを作成し、今年度中に設置する予定である。平成26年度以降、本ワーキンググループを通じて中長期的にSPODの運営について検討していく。	SPOD事業における統合と分化の方向性について、「SPOD将来構想ワーキンググループ」を今年度に立ち上げ、中長期の目標を検討していく。
【SD】 愛媛大学や次世代リーダーを越えて、加盟校全域にスタッフ・ポートフォリオを促進するための仕組みについて早急に議論すべきである。すでに大阪府立高専でもスタッフ・ポートフォリオの作成ワークショップが開催される予定である。SPOD内で生まれた取組みをまずはSPOD内で普及させるべきである。		○	SPODフォーラム2013のシンポジウムにおいて、「ポートフォリオは大学教育の質向上に貢献できるか？」をテーマにポートフォリオの第一人者にご講演いただき、約9割の参加者から「満足」との評価をいただいた。また、ポートフォリオへの理解の深まりが伺える意見が多く寄せられた。 SPODでは、設立当初から教育の質向上に努め、それに資するツールとしてポートフォリオを重視しており、近年はアカデミック・ポートフォリオ(AP)作成ワークショップも実施する等、SP、TP、APの3つのワークショップを通じてポートフォリオの意義を発信している。今後も教職員自身の有効な振り返りのツールとしてポートフォリオのさらなる普及に努める。	SPODフォーラム2013の統一テーマが「ポートフォリオ(TP・SP・LP)による質向上」であり、TP、SPの広報の場として情報発信に取り組む。 ただし、SPについてはSPODが開発したもので歴史も浅い上、メンタリングを実施しながら作成を行うものであるため、普及には時間がかかる。しかし、今後も普及のため学会等でSP導入の成果について積極的に発表していく。
【FD】 ティーチング・ポートフォリオをSPOD内でどのように位置づけていこうとされているのか、方向性が分らない。				
【FD】 四国全土という大規模でFDを共同で推進してこられて、それぞれの大学の学生は教員が変わっていることを実感しているのだろうか。		△	学生調査・IRワーキンググループにおいて、学生を対象としたアンケートの設問を作成し、FD専門部会で設問内容と併せて実施方法について検討した。しかし、実施方法については解決すべき課題も多く、引き続き慎重に検討していく。	調査・研究プロジェクト事業の一つ「学生調査・IRワーキンググループ」が実施予定の学生アンケートの中で、学生の学習環境と併せ、教員に関する設問を入れる予定である。

【長期的に検討すべき課題】				
事項		評価委員からの意見		理 由
【組織運営等】 SPODの地域性や資金面を考えると、国だけではなく地域の行政や民間企業との交流機会をつくっていくことが大切である。		SPODの今後の持続的な運営を考えた場合、自治体等との連携・支援を得ることは有用である。四国の大学活性化を通した四国の活性化を目指し、社会貢献を視野に入れた取組を検討し、行政からの支援を得る方策も考えられるが、実現に向けてはニーズ調査・人的資源を含めて検討課題が多く時間を要する。		SPODの今後の持続的な運営を考えた場合、自治体等との連携・支援を得ることは有用である。四国の大学活性化を通した四国の活性化を目指し、社会貢献を視野に入れた取組を検討し、行政からの支援を得る方策も考えられるが、実現に向けてはニーズ調査・人的資源を含めて検討課題が多く時間を要する。
【FD】 FDer養成取組は高く評価できるが、一時検討されていたFDerの資格化は、その後どのようになったのか明確にする必要がある。資格に関する方針を明確にしてほしい。		現在日本高等教育開発協会(JAED)において検討中であり、今後、その動向を見つつ検討していく予定である。		現在日本高等教育開発協会(JAED)において検討中であり、今後、その動向を見つつ検討していく予定である。
【FD】 新任教員研修が標準化したのであるから、教授能力証明書の発行やその基準についても、迅速に進める必要があるのではないか。		高等教育教授能力証明プログラムワーキンググループでは、当初、SPOD内に限定しての教授能力証明を想定していた。しかし、近年、体系的にFDプログラムを提供する大学等が増えており、組織を越えた研修内容の標準化及び修了証の互換性(有効性)について今後の動向を見て長期的に検討する。		高等教育教授能力証明プログラムワーキンググループでは、当初、SPOD内に限定しての教授能力証明を想定していた。しかし、近年、体系的にFDプログラムを提供する大学等が増えており、組織を越えた研修内容の標準化及び修了証の互換性(有効性)について今後の動向を見て長期的に検討する。

平成25年度第1回四国地区大学教職員能力開発ネットワークFD専門部会議事概要

1 日 時 平成25年5月29日（水）13：30～15：30

2 場 所 愛媛大学本部5階 第2会議室

3 出席者 徳島大学 香川准教授

香川大学 佐藤講師，石井修学支援グループチーフ

高知大学 立川准教授

愛媛大学 佐藤准教授，山田准教授，神教育企画課長

陪席者 徳島大学 三好教育企画室長

愛媛大学 清水助教，大竹助教，仲道助教，濱元教育企画チームリーダー，

山内教育企画課員，秋山教育企画課員，三好教育企画課員

4 議 題

（1）正副部会長の選出について

SPOD事務局の山内から，資料1－1～2に基づき，FD専門部会要項第4条により，正副部会長を選出する必要があることについて説明があり，部会長に愛媛大学の山田准教授を推薦し，了承された。続いて，山田部会長から，副部会長の選出について，FD専門部会要項第4条第4項より，部会長の所属校を除くコア校から部会長が指名することについて説明があり，高知大学の立川准教授を指名し，了承された。

（2）調査・研究プロジェクトについて

山田部会長から，調査・研究プロジェクトの経緯について説明があった。また，連携効果検証ワーキング，学生調査・IRワーキング，組織変容検証ワーキングの各主担当校から検討状況の報告があり，実施にあたっての課題等について意見交換が行われた。

（3）各校の今年度のFD活動やその課題について

各コア校から，今年度のFD活動の状況や課題，特徴的な取組の紹介等について報告があり，意見交換が行われた。

平成25年度第2回四国地区大学教職員能力開発ネットワークFD専門部会議事概要

- 1 日 時 平成25年12月18日（水）13：00～15：00
- 2 場 所 愛媛大学 城北キャンパス 法文学部本館 2階 小会議室
- 3 出席者 徳島大学 宮田准教授，吉田助教

香川大学 葛城准教授，石井修学支援グループチーフ

高知大学 塩崎教授

愛媛大学 山田准教授，神教育企画課長

陪席者 高知大学 武内学務課総合教育センター事務係長

石川学務課総合教育センター事務係員

愛媛大学 清水助教，濱元教育企画チームリーダー，秋山教育企画課員，三好教育企画課員

4 議 題

（1）調査・研究プロジェクトについて

宮田准教授から資料1－1～2に基づき，SPOD新任教員研修に関するアンケートについて説明があった。意見交換の結果，アンケート内容については一部修正の上メールにて審議することとなった。引き続きアンケート実施方法について意見交換が行われ，以下の手順とする予定となった。

- ・メール審議の後，平成26年1月中旬までにアンケート内容を確定し，印刷する。
- ・平成26年1月31日までにSPOD事務局が，受講者の所属する加盟校あてに各受講者分のアンケート用紙をまとめて配布し，加盟校の事務担当者が受講者に配布する。
- ・受講者が徳島大学へ2月21日までにアンケートを返送する。
- ・3月上旬までを目処に徳島大学がアンケートの結果をまとめる。なお，集計にあたってアルバイト雇用等が必要であれば，SPOD事務局と徳島大学で調整することとなった。

引き続き，葛城准教授から資料1－3に基づき，大学生の学びの実態に関するアンケート調査について説明があり，質問内容及びアンケートの実施方法について意見交換が行われ，引き続き検討することとなった。

（2）SPODフォーラム2014について

塩崎教授から資料2－1～2に基づき，SPODフォーラム2014の開催案及び提供するFDプログラム案について説明があった。続いて，各コア校に2コマ程度ずつFDプログラムを担当して欲しい旨の依頼があり，プログラム名等が決定次第，連絡することとなった。

なお，塩崎教授から，シンポジウムの講師は，東京大学の中原准教授に依頼する予定である旨の説明があった。

平成25年度SPODネットワークコア運営協議会SD専門部会(第1回) 議事概要

日 時：平成25年5月29日（水）14：00～15：30

場 所：愛媛大学本部5F 第1会議室

出席者：徳島大学 小西人事課課長補佐

香川大学 松永給与福利課グループリーダー

高知大学 中山人事課長，川崎人事課課長補佐

愛媛大学 阿部特任助教，吉田人事課長，武智人事課副課長，

陪席者：愛媛大学 岸岡教育企画課員，戸田教育企画課員，八丈野教育企画課員，

久保人事課人事・人材育成チームリーダー，大本人事課人事・人材育成チームリーダー

神谷人事課員，川井人事課員

議 題

1. 正副部会長の選任について

吉田委員から，資料1－1～1－2に基づき，SD 専門部会要項第4条より，正副部会長を選出する必要があることについて説明があり，部会長に愛媛大学の秦教授を推薦し，了承された。

続いて，吉田委員から，副部会長の選出について，SD 専門部会要項第4条第4項より，部会長の所属校を除くコア校から，部会長が指名することについて説明があり，香川大学の松永チームリーダーが推薦され，了承された。

2. SPOD－SDC 認定証について

吉田委員から，資料2－1に基づき，SPOD－SDC 名称付与基準の説明を行い，資料2－2の様式によって，SPOD－SDC 資格認定証を発行する旨の提案があり，了承された。

また，資格認定証を発行するにあたり，SPOD 代表者印の作成について提案され，了承された。

3. 連携効果・組織変容検証ワーキンググループについて

阿部委員から，資料3に基づき，連携効果・組織変容検証ワーキンググループについては，連携効果・組織変容検証プロジェクトチームに名称を変更し，プロジェクトチームの下部組織としてワーキングチームを設置することについて提案があり，了承された。

また，阿部委員から，資料3に基づき，プロジェクトチームの業務内容等の説明を行い，各コア校からSD 担当者にプロジェクトチームに参加願いたい旨依頼があった。

4. 大学人・社会人としての基礎力養成プログラム研修（レベルⅠ）新任職員研修の実施場所について

吉田委員から，資料4に基づき，平成25年度の大学人・社会人としての基礎力養成プログラム研修（新任職員研修）の実施状況について説明があり，各県で持ち回りで開催することについて提案があった。また，担当校となった場合は，会場手配・準備，資料の印刷，当日の運営等を行い，SPOD 事務局は，研修の企画や募集，講師の選定・依頼等を行うことになる旨の説明があった。

各県で開催することについては、四国地区共同初任者研修の順番に基づき、来年度は、徳島で実施することとなること、また、持ち回りとなった場合の順番としては、続いて香川・高知・愛媛の順番で実施する旨の提案があり、各大学に本議題を持ち帰り、審議することとなった。

5. 研修の名称変更について

吉田委員から、講師養成研修については、何の講師養成か分かりにくいという意見があることから‘職員のための講師養成講座’に名称を変更することについて提案があり、了承された。

引き続き、吉田委員から、大学人・社会人としての基礎力養成プログラム研修については、レベルⅢになっても‘基礎力養成’プログラム研修で良いのかという意見があることの説明があり、名称変更についてSPOD事務局にて検討した結果、各レベルにおいての‘基礎力養成’プログラムのため、現状のままで変更の必要はないとの提案があり、名称を変更しないことで了承された。

6. SD 分科会での意見について

大本人事・人材育成サブリーダーから、資料6に基づき、平成24年度SD分科会での意見に対する対応策について説明があり、了承された。

7. その他

(1) SPOD チャンネルについて

吉田委員から、資料7に基づき、SPOD チャンネル・アンケートについて説明があり、まずは、試行版2つ(各9分程度)を公開し、今後のSPODチャンネルの内容等については、今後、検討していくこととなった。

なお、SPOD 加盟校外にも、公開しても良いか検討し、今回は加盟校外にも広く公開して意見を求めることとなった。

(2) 社会連携系マップについて

吉田委員から、資料7-3～7-4に基づき、社会連携系マップが完成したことの報告があり、今年度は完成した社会連携系マップの中から、SPOD フォーラムにおいて、レベルⅠの「社会連携基礎」を実施予定であることの説明を行った。

(3) 国際連携系マップについて

吉田委員から、国際連携系マップ開発のため、秋～年末頃にSPOD加盟校より国際連携系関係者や興味のある方を集め、ワークショップを実施し、今年度中に意見のとりまとめ・修正を行い、国際連携系マップを完成させる予定であることの説明があった。

また、開発した国際連携系マップを基に、平成26年度に国際連携系研修を実施予定であることの説明があった。

平成25年度SPODネットワークコア運営協議会SD専門部会(第2回) 議事概要

日 時：平成25年12月18日（水）13：00～15：15

場 所：愛媛大学 城北キャンパス法文学部本館2階 中会議室

出席者：徳島大学 近田人事課長，小西人事課課長補佐

香川大学 松永給与福利グループリーダー，角田給与福利グループチーフ

高知大学 川崎人事課課長補佐

愛媛大学 秦教授，阿部講師，米澤教育学生支援部長，西尾総務部長，吉田人事課長，

陪席者：愛媛大学 丸山特任助教，山内教育企画課員，戸田教育企画課員，八丈野教育企画課員，

武智人事課副課長，久保人事課人事・人材育成チームリーダー，

大本人事課人事・人材育成チームリーダー，神谷人事課員，川井人事課員

議 題

1. 次世代リーダー養成ゼミナールの欠席者の取扱いについて

吉田委員から，資料1に基づき，次世代リーダー養成ゼミナールの欠席者の取扱いについて説明があった。審議の結果，文章を一部修正し，再度，各コア校の了承を得ることとなった。

2. 次世代リーダー養成ゼミナールの来年度の経費について

吉田委員から，資料2-1に基づき，来年度のSD予算のうち，次世代リーダー養成ゼミナールの予算について，経費削減のため，愛媛大学からスタッフの参加を，2名から1名とすること，及びその代替として，開催県のSD担当者に協力いただきたい旨提案があり，了承された。なお，来年度からSPODフォーラム開催県では，次世代リーダー養成ゼミは開催せず，愛媛県にて2回開催（内1回は合宿形式とする）する旨の提案があり，了承された。また，ゼミの運営に関しても，ゼミリーダーを決定し，スタッフの負担を軽減する旨説明があった。

引き続き，吉田委員から，資料2-2に基づき，関西地区にて開催された次世代リーダー養成ゼミナール（第2回）のアンケート集計結果について報告があった。

なお，来年度は予算の関係上，四国外では開催しないが，ゼミ生が実施するフォーラムの予行演習には，開催県の職員に積極的に参加してもらう等の工夫する旨説明があり，各コア校に協力について依頼があった。

さらに，来年度，第2回目の徳島県開催の際にSPOD以外の方たちにもゼミを開放すること，隔年で，四国外（大阪等）で開催する旨の提案があり，了承された。

3. 大学人・社会人としての基礎力養成プログラム研修（レベルⅠ）【新任職員研修】について

吉田委員から，資料3-1～3-2に基づき，平成26年度の大学人・社会人としての基礎力養成プログラム研修（レベルⅠ）【新任職員研修】の日程について，来年度は徳島大学にて開催する旨の説明があった。なお，2日間で開催する旨の提案があったが，審議の結果，研修内容をもっと充実させるため，来年度は2.5日開催にすることで了承された。修正後の日程表については，各コア校へ送付することとなった。

引き続き，吉田委員から，資料3-3に基づき，持ち帰り審議となっていた新任職員研修の各県持ち回り開催について，全コア校の了承を確認した。

また、吉田委員から、資料3-4に基づき、研修マニュアルについての説明があった。

4. 平成26年度SDプログラムについて

吉田委員から、資料4-1～4-2に基づき、平成26年度の研修予定について説明があり、了承された。

引き続き、阿部委員から、平成26年度9月開催予定の職員のための講師養成講座について、「各論」として、総論を受講した方を対象に、1つのプログラムに特化した講師を養成していたが、来年度からは「実践編」とし、複数のプログラムに対応できるようにしたい旨の説明があり、了承された。

5. その他

(1) 次世代リーダー養成ゼミナール修了生のアンケート集計結果について

阿部委員から、資料5に基づき、次世代リーダー養成ゼミナール修了生（1期生・2期生対象）のアンケート集計結果について報告があった。

また、この集計結果については、平成25年度9月に開催された、大学行政管理学会「第17回定期総会・研究集会」でも発表した旨の報告があった。

(2) 次世代リーダー養成ゼミナールのカリキュラムマップについて

吉田委員から、資料6に基づき、平成25年度～26年度中に次世代リーダー養成ゼミナールカリキュラムマップ及びカリキュラムのシラバスを作成する予定であることの説明があった。

(3) 国際連携系職員養成プログラムについて

吉田委員から、資料7に基づき、国際連携系職員養成プログラムマップ作成の進捗状況について報告があった。

引き続き、吉田委員から、プログラムマップ（案）について、各コア校に対し、修正・追記等の取り纏めを平成26年1月下旬締め切りで依頼する旨の説明があり、了承された。

また、開発した国際連携系職員養成プログラムマップを基に、平成26年度のSPODフォーラムにて国際連携系職員養成プログラム研修を実施予定である旨、説明があった。

(4) SPOD-SDプログラムの規定見直しについて

吉田委員から、資料8-1～8-3に基づき、SDプログラムの規定見直しの方向性について説明があり、各大学に本議題を持ち帰り、審議することとなった。なお、意見等あれば、平成26年1月10日（金）までに、連絡いただきたいとの依頼があった。

引き続き、吉田委員から、平成26年度4月1日より適用させたいので、規定見直しについて後日メール審議を行う予定であることの説明があり、了承を得た。

(5) SPOD-SDCについて

秦部会長から、資料9-1～9-7に基づき、SPOD-SDCについて愛媛大学吉田人事課長、久保人事課人事・人材育成リーダー、上甲人事課労務リーダーがその基準を満たしており、本日開催されるコア運営協議会において3名をSDCとして推薦する旨の説明があり、了承された。

引き続き、阿部委員から、SPOD加盟校からもSPOD-SDCが輩出されるよう、学内でサポートをお願いしたい旨の依頼があった。

また、秦部会長から、SPOD-SDCの申請書について、後日各加盟校へ送付する旨の説明があり、推薦者を募ることについて提案があり、承認された。

(6) SPODフォーラム2014について

吉田委員から、資料10-1～10-3に基づき、SPODフォーラム2014について説明があった。意見交換を行った結果、全体テーマについて、秦部会長が担当校と相談することとなった。

平成25年度「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」総会
及びFD／SD分科会 実施要項

主 催：四国地区大学教職員能力開発ネットワーク（SPOD）
日 時：平成26年3月28日（金）13：00～15：45
場 所：（総会）愛媛大学城北キャンパス総合情報メディアセンターメディアホール
（FD／SD分科会）愛媛大学城北キャンパス愛大ミューズ3階M32，33
出 席 者：（総会）加盟校各大学長、短期大学長、高等専門学校長等
（FD／SD分科会）加盟校 FD／SD担当者等

【総 会】

- 13：00 開会挨拶 SPOD会長：愛媛大学長
- 13：05 平成25年度の「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」事業の
実施状況について（25分）
- 13：30 平成26年度の「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」事業の
運営について（30分）
- 14：00 質疑応答（30分）
- 14：30 閉 会

【FD／SD分科会】※FD分科会及びSD分科会を2箇所で開催

- 14：45 各加盟校での取り組み状況の報告
今後の具体的な事業の進め方について
意見交換 など
- 15：45 閉 会

S P O D フォーラム 2 0 1 4 の開催について（案）

（趣旨）

「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク（ネットワーク略称＝S P O D）」の目玉企画として、S P O D の実施する研修プログラム等を集中的に提供する。

（主催）

四国地区大学教職員能力開発ネットワーク
愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室（教職員能力開発拠点）

（日時）

平成26年 8月27日（水）～ 8月29日（金）

（会場）

高知大学朝倉キャンパス（高知県高知市曙町2-5-1）

（参加対象者）

1. 「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」加盟33校の教職員
2. 1. 以外でF D ・ S D に興味のある方
※S P O D 加盟校の参加者を優先する。

（全体テーマ）

「“気づき”と“振り返り”が大学を変える ～ 成長を確かなものにするために～」

（内容）

大学が大きく変わろうとしている節目にあって、“気づき”と“振り返り”の重要性が注目されています。学習成果や教育業績、業務実績の向上のためのポートフォリオも、より質の高い“振り返り”とそれによって得られる“気づき”をもとにして次のステップをめざすという考え方のもとに普及しつつあります。

S P O D フォーラム2014では、シンポジウムや関連プログラムをはじめ、多彩な研修プログラムを通じて、参加者に“気づき”と“振り返り”の場を提供し、学生、教職員の成長、ひいては大学・短期大学・高等専門学校の組織としての成長を確かなものとしていくことをめざしています。

（シンポジウム）

プログラム名：「リフレクション学」を創る ～成長を確かなものにするために～
講師：中原 淳氏（東京大学 大学総合教育研究センター 准教授）

（事務担当）

高知大学学務部学務課，S P O D 事務局（愛媛大学教育企画課）

